

がん感染症疾病対策課感染症対策係  
 担当 佐藤、阿部  
 直通：092-643-3597  
 内線：3386

## 福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和4年第5週（令和4年1月31日～令和4年2月6日）

福岡県感染症情報センター

### ■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	8	67	174	866
腸管出血性大腸菌感染症	1	7	8	67
梅毒	2	18	119	594

※新型コロナウイルス感染症の最新の発生状況等は別紙をご覧ください。

### ■ 定点把握疾患報告数

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
インフルエンザ	1	0.01	1.00	55	0.01
RSウイルス感染症	195	1.63	0.65	1,523	0.49
咽頭結膜熱	32	0.27	0.89	451	0.14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	130	1.08	0.88	1,508	0.48
感染性胃腸炎	945	7.88	0.88	22,294	7.10
水痘	10	0.08	0.91	252	0.08
手足口病	15	0.13	0.83	819	0.26
伝染性紅斑	1	0.01	1.00	42	0.01
突発性発しん	52	0.43	1.00	798	0.25
ヘルパンギーナ	0	0.00	-	149	0.05
流行性耳下腺炎	3	0.03	1.50	75	0.02
急性出血性結膜炎	1	0.04	1.00	3	0.00
流行性角結膜炎	9	0.35	3.00	120	0.17
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	6	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	4	0.01
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	-	6	0.01
クラミジア肺炎	0	0.00	-	1	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	5	0.01

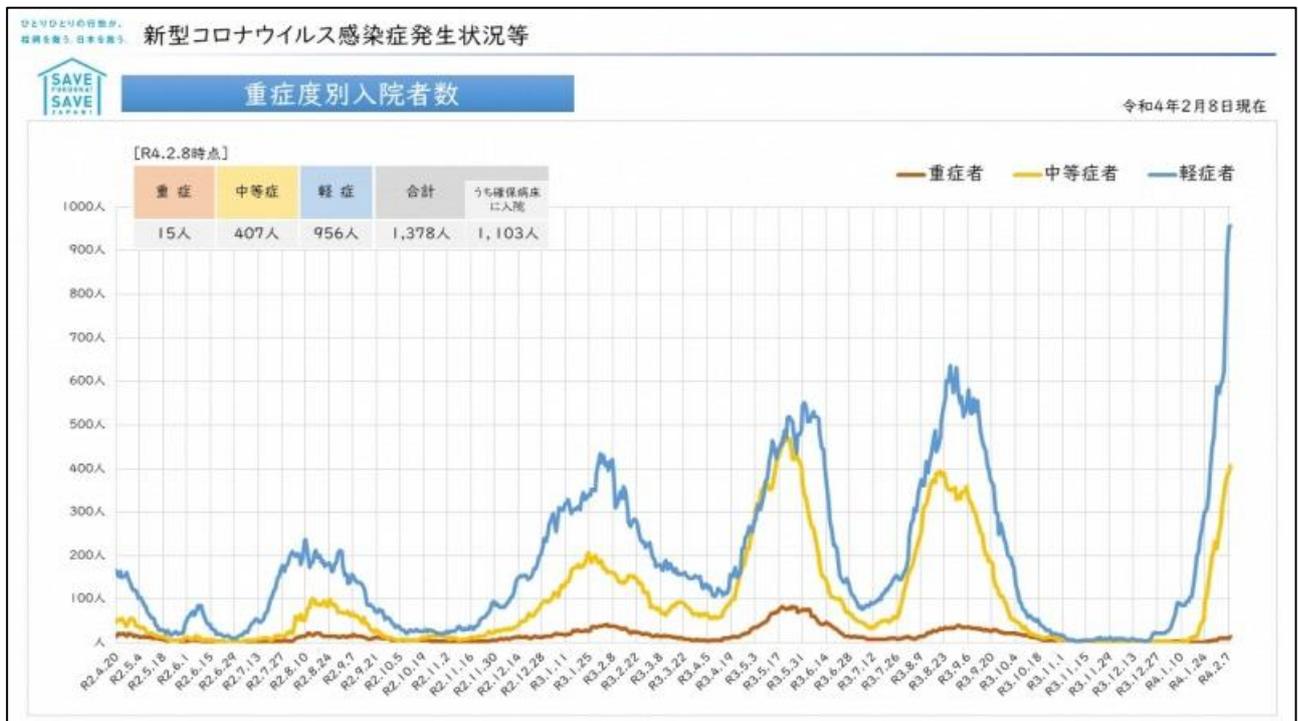
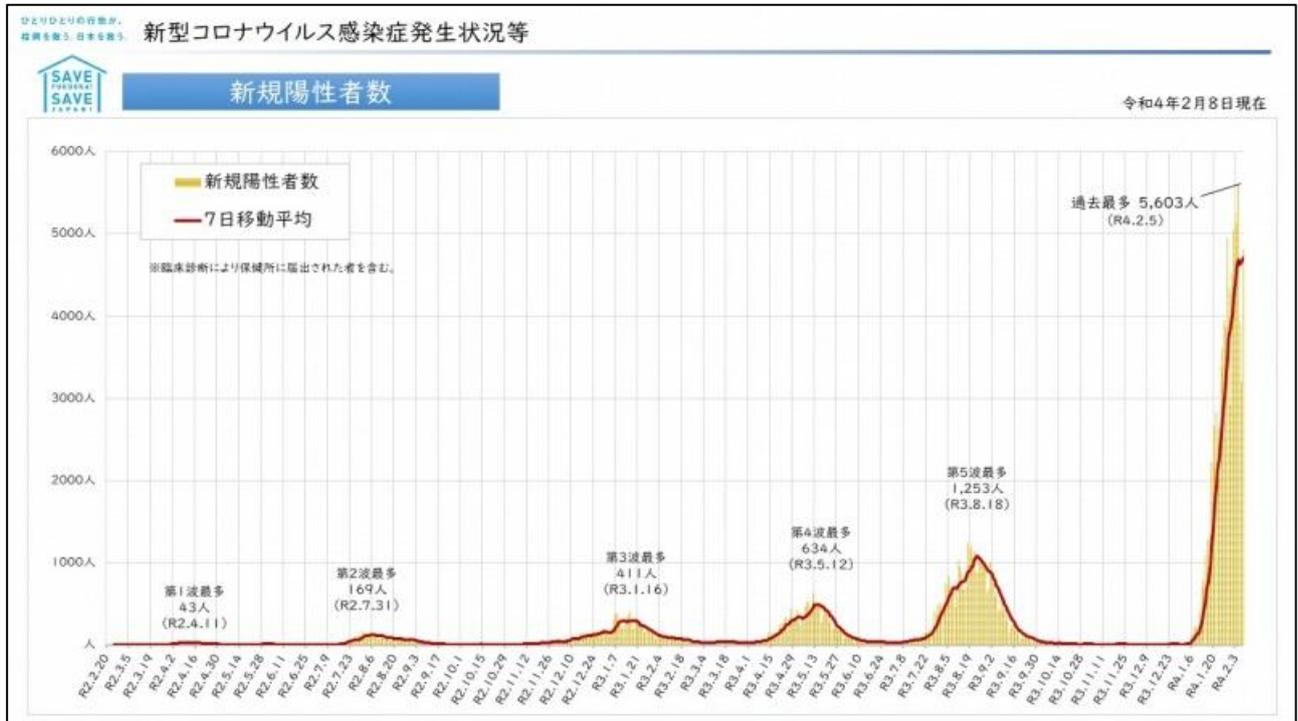
 : 警報レベル

 : 注意報レベル

### ■ コメント

- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が全国（前週）に比べ多くなっています。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は冬季と春から初夏にかけて多い疾患です。学童期の小児がかかることが多く、発症すると突然の発熱と倦怠感、咽頭痛、舌がイチゴのように腫れるなどの症状があらわれます。まれに肺炎、髄膜炎、腎炎などの合併症をおこすこともあります。A群溶血性レンサ球菌は、飛沫や接触を介して感染するため、普段からしっかり流水で手洗いを行い、感染予防を心がけましょう。また、合併症を防ぐためにも、早期の診断・治療を受けることが重要です。気になる症状がある場合は医療機関に相談しましょう。
- ・ 福岡県感染症情報ホームページ ([http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc\\_fukuoka/](http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)) では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

## ○県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況等について



・福岡県では、下記のホームページにて随時、発生状況や感染予防策などの情報提供を行っています。

◇新型コロナウイルス感染症ポータルページ

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html>